2006年05月9日

「銀河時計」を当社虎ノ門ビルに設置
～「愛・地球博」開催から1年を迎え ～

記者各位

当社（社長：西尾 進路）は、2005年日本国際博覧会（以下、愛・地球博）開催から1年を迎えるにあたり、愛・地球博にて展示しておりました「銀河時計」を当社虎ノ門ビル（東京都港区）の1階ロビーに設置しましたのでお知らせいたします。

当社は、同博覧会に3台のLPガス仕様燃料電池システムを提供し、同システムで発電した電力を同博覧会協会のテーマ館であるグローバルハウスおよび2つのオブジェ「浮かぶ地球」「銀河時計」それぞれに供給しました。その内の一つである太陽系の惑星をイメージした「銀河時計」は、昨年3月25日から9月25日までの間、グローバルハウスのエントランス付近に設置され、多くの来場者に当社燃料電池システムをアピールしました。

当社は、LPガス仕様家庭用燃料電池システム「ENEOS ECO LP－1」と灯油仕様家庭用燃料電池システム「ENEOS ECO BOY」を商品化し、積極的に燃料電池の普及を図っております。そのシンボルとして、当社虎ノ門ビルに「銀河時計」を設置し、来訪される方々に“燃料電池のトップランナー”である当社の取り組みを訴求してまいります。

当社虎ノ門ビルに設置された「銀河時計」

以上

別添：「銀河時計」説明パネル内容

「銀河時計」説明パネル内容
＜画像をクリックすると拡大します＞